設　　計　　書

工　種	道　他
工事番号	第 8 号

ゆき対策担当課長		副参事		担当		担当リーダー		設計担当者　道路維持課　　ゆき対策 担当 内　線　　（ ５５・２４５ ） 印

年　度	平　成　27　年　度	作成年月日	平成　２７年　７月　２２日
工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	工事概要	
		融雪施工延長	Ｌ ＝　１００ｍ
		融雪施工面積	Ａ ＝　４９９．８㎡
施工箇所	八橋大道東地内	融雪ユニット敷設	Ｎ ＝　１５面
		高圧受電施設設置	Ｎ ＝　１基
		既設ボイラー庫撤去	Ｎ ＝　１基
設計金額		舗装工	Ａ ＝　８６５㎡
財源区分	（国　補）・県　補・市　単		
施工期日	着手から　　日間　または 平成　２７　年　１１　月　２７　日まで	主任監督員（職名）氏名	（　　）
		工事監督員（職名）氏名	（　　）

電気設備工事等に関する特記仕様書

秋田市建設部道路維持課

１．製作を依頼するヒーティング設備および盤類については、設計図面に記載されている以外は、下記の本要綱に準拠して製作すること。

（準拠規格）

・ロードヒーティング設備の設計指針（(社）建設電気技術協会）
・国土交通大臣官房官庁営繕部監督　電気設備工事共通仕様書　（最新版）
・国土交通大臣官房官庁営繕部監督　電気設備工事標準図　　（最新版）
・電気設備技術基準　日本電気協会規格「内線規定」　　（ＪＥＡＣ）
・日本工業規格　　（ＪＩＳ）
・日本電機工業会標準規格　　（ＪＥＭ）
・電気設備技術基準
・その他関係法令および規格

２．本設計書および設計図面は、工事費算出のための参考資料であり、施工に際しては施工図および承認願いを提出し、協議すること。

３．融雪施設の設計発熱量は、２００Ｗ／㎡とすること。

４．各融雪ユニットのリードケーブルは、本体とハンドホール間についてジョイントがないこととする。

５．融雪の制御方式については、外気温、路面温度、路面水分の３要素の組合せ制御とすること。

６．制御盤はSUS304製、秋田市指定色塗装とする。

７．各センサーの動作を確認するため、冷却材等により試験確認をすること。

８．工事施工に際しては、監督員と十分な打ち合わせのうえ実施すること。

工 事 名：市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事
施工箇所：八橋大道東地内

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

・下記の明示事項・条件及び内容のチェック印該当欄は、共通仕様書等に記載されている制約事項以外について明示するものである。
・明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生した場合は、監督員と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
・別途協議とは、設計・現場説明又は打合簿等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	☒他工事との工程調整の必要あり	☒調整項目　☐資材等の流用　☐仮設及び工事用道路等の調整　☐建設機械等の調整 ☐施工箇所　☒施工順序の調整　☒別途協議 ☐その他（　　）
	☒施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☒制限する工種名（受変電設備工・既設施設撤去工）
		☒施工時期及び施工時間（　　）
		☐施工方法（　　）
	☐他機関との協議が未完了	☐協議が必要な機関名（　　）
		☐協議内容（　　）
		☐協議完了見込時期（　　）
	☒占用物件の確認の必要あり	☒占用物件名　☐電気　☐電話　☒上水道　☒下水道　☒ガス　☒その他（道路融雪設備）
		☒物件の確認　☐確認済　☒未確認
	☐その他（　　）	☐その他（　　）
用地関係	☐用地および補償物件の未処理箇所あり	☐未処理箇所　☐別添図　☐No.　～　☐別途協議
		☐完了見込時期　☐平成　年　月　旬頃　☐別途協議
	☐仮設ヤードあり	☐仮設ヤード　☐官有地　☐民有地　☐その他（　　）　☐別途協議
		☐仮設ヤード使用期間（平成　年　月　日　～　平成　年　月　日）
		☐現場からの運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
		☐使用条件・復旧方法（　　）
	☐その他（　　）	☐その他（　　）
工事用道路関係	☐一般道路（搬入路）の使用制限あり	☐進入（搬入）経路　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議
		☐使用期間の制限内容　（　　）
	☐仮設道路の設置条件あり	☐使用中及び使用後の措置　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議
		☐用地及び構造　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議
		☐安全施設　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議
	☐その他（　　）	☐その他（　　）

明示項目	明示事項	条件及び内容
公害対策関係	□施工方法の制限あり	□制限項目　□騒音　□振動　□水質　□粉じん　□排出ガス　□その他（　　）
		□施工方法　□指定工法（　　）　□別途協議　□その他（　　）
		□施工時期　□平成　　年　　月　　旬頃　□別途協議
	□事業損失防止に関する調査あり	□調査項目　□騒音測定　□振動測定　□水質調査　□近接家屋の事前・事後調査 □地盤沈下測定　□地下水位等の測定 □その他（　　）
		□調査方法　□別添資料　□別途協議　□その他（　　）
		□調査費　□計上あり　□別途協議　□その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）
安全対策関係	☒交通安全施設等の指定あり	☒交通安全施設等の配置　□別添図面　☒別途協議　□その他（　　）
		☒交通誘導員の配置　□別添図面　☒別途協議 ☒配置員種別（交通誘導員（B）） ☒配置人員数（昼間）（３人/日・８日・計２４人） □昼間勤務交代要員あり ☒配置人員数（夜間）（３人/日・２０日・計６０人） □夜間勤務交代要員あり □その他（　　）
	□近接公共施設等に対する制限	□施工時間の制限（　　）
		□工法の制限あり ・近接公共施設等の配置（□鉄道　□電気　□電話　□水道　□ガス　□その他（　　）） ・制限を受ける工種　（　　） ・制限内容　（　　）
	□土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□安全防護施設等の配置　□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
		□保安要員の配置　□別添図面　□別途協議　□その他（　　） □配置員種別（　　） □配置人員数（　　人/日・　　日・計　　人）
	□有毒ガス・酸素欠乏等の対策	□換気設備等の配置　□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
		□危険防止対策の工法　□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
	□イメージアップ経費適用工事	□イメージアップの内容（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）
排水工関係	□濁水、湧水等の排水に制限あり	□項目及び基準値（　　）
	□水質調査等の必要あり	□調査項目（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）

明示項目	明示事項	条件及び内容
建設発生土・建設廃棄物関係	□建設発生土 ※投棄処分および再生処分が選択されている場合において、当該処分（受入）地へ運搬しない場合、また、発生土の性状を十分見極め再利用可能な場合は、監督員と別途協議すること。	□処分方法　□投棄処分　□他工事利用　□指定処分　□自由処分 □再生処分　□その他（　　）
		□処分（受入）地　□別添図等　□別途協議　□その他（　　） □場所（　　）
		□処分地の処理条件　□押土整地　□その他（　　）
		□処理（受入）費等計上あり　□処理（受入）費　□押土整地　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
	☒ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☒処分地　☒再生（中間）処分場（浜田地内）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		☒処理（処分）費計上あり　☒処理（処分）費　□その他（　　）
		☒現場からの運搬距離（Ｌ＝９．６ｋｍ）
	☒ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☒処分地　☒再生（中間）処分場（浜田地内）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		☒処理（処分）費計上あり　☒処理（処分）費　□その他（　　）
		☒現場からの運搬距離（Ｌ＝９．６ｋｍ）
	□木材 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	□処分地　□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり　□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
	□汚泥 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	□処分地　□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり　□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
	□その他（　　）	□処分地　□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議　□その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり　□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
		□その他（　　）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
仮設備関係	□仮設備の設置条件あり	□使用期間（　　）
		□借地条件（　　）
		□転用あり（　　）
		□兼用あり（　　）
		□引継あり（　　）
	□仮設物の構造及び施工方法の指定	□構造及び設計条件　□別添図等　□その他（　　）　□別途協議
		□施工方法（　　）
	□その他（　　）	□その他　（　　）
薬液注入関係	□薬液注入工法等の指定あり	□工法区分（　　）
		□材料種類（　　）
		□施工範囲（　　）
		□削孔関係（　　）
		□注入量　（　　）
		□その他　（　　）
	□提出書類あり	□工法関係（　　）
		□材料関係（　　）
	□確認事項あり	□注入量　□注入の管理　□注入の効果　□その他（　　）
	□その他（　　）	□その他　（　　）
地盤改良関係	□工法等の指定あり	□工法区分（　　）
		□材料種類（　　）
		□施工範囲（　　）
		□その他　（　　）
	□提出書類あり	□工法関係（　　）
		□材料関係（　　）
		□試験関係（　　）
	□確認事項あり	□配合　□現場 CBR 値　□その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）
工事支障物件関係	□工事支障物件あり	□電気　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）
		□電話　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）
		□上水道　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）
		□下水道　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）
		□ガス　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）
		□有線　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）
		□その他（　　）　□移設時期（平成　　年　　月　　日頃　□別途協議）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容	
再生材使用関係	☒再生材使用の指定あり	☒再生材の種類	□再生アスコン　□再生路盤材　☒再生クラッシャーラン □その他（　　）
		□再生材が使用できない場合の措置	□新材に変更　□別途協議 □その他（　　）
	☒再生ｱｽｺﾝへの溶融スラグの混入	☒溶融スラグ混入の有無	☒有　□無　□その他（　　）
		□溶融スラグ混入合材の種類	☒再生密粒度アスコン(13)　□再生密粒度アスコン(20) □再生粗粒度アスコン(13)　□再生粗粒度アスコン(20) □その他（　　）
		☒溶融スラグ混入が使用できない場合	□新材に変更　□その他（　　） ☒別途協議
	☒再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝの規格	☒ＲＣ－４０ □ＲＣ－８０	☒粒度範囲は、舗装再生便覧の「再生クラッシャーランの望ましい粒度範囲」の規格に適合するものとする。
			□再生クラッシャーランの粒度について、確認できる試験結果または品質を証明する資料を、使用する前に監督員に提出すること。
	□秋田県認定リサイクル製品の使用	□秋田県認定リサイクル製品を使用する 種類：□歩車道境界ブロック（　　） □鉄筋コンクリートU型側溝（　　） □鉄筋コンクリートU型側溝蓋（　　） □自由勾配側溝（　　） □自由勾配側溝蓋（300 型, 車道用） □鉄筋コンクリートベンチフリューム（　　） □鉄筋コンクリート排水フリューム（　　）	
	※溶融スラグ入りプレキャストコンクリート製品またはフライアッシュ入りプレキャストコンクリート製品	□秋田県認定リサイクル製品を使用するように努める	□種類（　　）
		□秋田県認定リサイクル製品が使用できない場合	□別途協議 □その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）	
適用条件	☒	☒秋田市土木工事共通仕様書（平成２７年５月１日以降適用）を適用	
		□上記仕様書の部分改訂の内容も含む（最新改訂 平成　　年　　月　　日）	
		□土木構造物設計マニュアル(案)　　編を適用	
		□その他（　　）	
ＣＯＲＩＮＳ登録	☒　　※請負代金額が 500 万円以上の場合	☒秋田市土木工事共通仕様書に基づき、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うこと	
建設副産物情報システム	☒	☒秋田市土木工事共通仕様書に基づき、ＣＲＥＤＡＳシステムを用いて再生資源利用計画書を作成し、電子媒体とともに監督員へ提出すること	

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
現場代理人	☒ ※常駐義務緩和の要件を満たす場合	☒兼務を認める ☐兼務を認めない
監理(主任)技術者	☐ ※請負代金額が 2,500 万円以上の場合	☐請負契約の締結の翌日から平成　　年　　月　　日までは監理(主任)技術者の専任を要しない。
		☐請負契約の締結後、監督員と協議して定めた現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入、仮設工事等が開始されるまでの間)については、監理(主任)技術者の工事現場への専任を要しない。
		☐工事完成後、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者へ通知した日以降、事務手続きおよび後片付け等のみが残っている期間については、監理(主任)技術者の工事現場への専任を要しない。
電子納品	☒工事完成図書	☒工事完成図書は電子納品とし、電子データは、「工事完成図書の電子納品等要領」に基づいて作成すること。電子媒体の提出部数は１部とする。なお、要領に記載のない項目の電子化および紙媒体による提出、または、電子納品によりがたい場合については、監督員と協議すること。
	☒工事検査	☒検査に必要な電子機器類の準備および検査時の機器操作は受注者が実施すること。
	☐その他（　　）	☐その他（　　）
その他	☐工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	☐保管場所（　　）　☐期間（　　）　☐その他（　　）
	☐現場発生品あり	☐品名（　　）　☐数量（　　） ☐保管場所（　　）　☐その他（　　）
	☐支給品あり	☐品名（　　）　☐数量（　　）　☐引渡場所（　　） ☐時期（平成　　年　　月　　旬頃）　☐その他（　　）
	☐盛土材等工事間流用あり	☐運搬方法　☐受注者で運搬　☐受注者以外で運搬　☐別途協議 ☐その他（　　）
		☐引渡場所　☐別添図等　☐別途協議　☐その他（　　）
		☐数量（　　）
		☐運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
	☐その他（　　）	☐その他（　　）

＝補足事項＝

・共通仕様書１－１－５１「工事測量」に基づいた測量結果について、契約締結後、３０日以内に監督員へ提出すること。その測量結果に基づき、現場と設計図書を照査し、数値等に差異が生じた場合についても、同期間内に監督員と協議することとする。その協議内容について必要があれば、設計変更の対象とする。

回収したフロンガスについては大館市花岡町字堤沢地内において破壊処理

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路維持		式	1				
舗装工		式	1				
舗装打換え工		式	1				
舗装版切断 夜間作業	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,切断深さ:15cm	m	18				単　1号
舗装版破砕 夜間作業	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,舗装版厚:15cm	m2	700				単　2号
舗装版破砕 夜間作業	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,舗装版厚:9cm	m2	165				単　3号
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬処分 ﾋｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ混合		m3	120				単　4号
不陸整正 (車道部),夜間作業	補足材整正厚 t=20㎜ 補足材種類 RC-40	㎡	700				単　5号
不陸整正 (歩道部),夜間作業	補足材整正厚 t=20㎜ 補足材種類 RC-40	㎡	165				単　6号
基層 (車道部),夜間作業	材料種類:再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20),舗装厚:50㎜	m2	700				単　7号
基層 (歩道部),夜間作業	材料種類:再生密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20),舗装厚:30㎜	m2	165				単　8号
中間層 (車道部･埋設層･人力),夜間作業	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:細粒度As(5F)改質Ⅱ型,舗装厚:40㎜	m2	700				単　9号
中間層 (歩道部･埋設層･人力),夜間作業	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:細粒度As(5F)改質Ⅱ型,舗装厚:30㎜	m2	165				単　10号

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
中間層 (車道部･緩衝層),夜間作業	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ(13)改質Ⅱ型,舗装厚:30mm	m2	700				単　11号
表層 (車道部),夜間作業	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ(13)改質Ⅱ型,舗装厚:30mm	m2	700				単　12号
表層 (歩道部),夜間作業	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ(13)改質Ⅱ型,舗装厚:30mm	m2	165				単　13号
道路付属施設工		式	1				
受変電設備工		式	1				
電線管敷設	SUS-GP28 屋外露出	m	7				単　14号
電線管敷設	SUS-GP82 屋外露出	m	10				単　15号
電線管敷設	硬質ビニル管VE16 屋外露出	m	16				単　16号
電線管敷設	硬質ビニル管VE16 屋外露出	m	1				単　17号
電線管敷設	波付硬質合成樹脂管FEP30 地中	m	12				単　18号
電線管敷設	波付硬質合成樹脂管FEP80 地中	m	6				単　19号
異種管接続材	FEP80-GP82	組	1				単　20号
ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE5.5 屋外管内	m	7				単　21号

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE14 屋外管内	m	9				単　22号
ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE14 地中管内	m	1				単　23号
ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE38 地中管内	m	12				単　24号
高圧ｹｰﾌﾞﾙ	6kv EM-CET60 屋外露出	m	5				単　25号
高圧ｹｰﾌﾞﾙ	6kv EM-CET60 地中管内	m	3				単　26号
高圧ｹｰﾌﾞﾙ	6kv EM-CET60 屋外露出	m	3				単　27号
電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理	CVT60 屋外	組	1				単　28号
電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理	CVT60 屋外がいし型	組	1				単　29号
ｹｰﾌﾞﾙﾏｰｸ	ｱｸﾘﾙ製,彫刻文字	枚	3				単　30号
屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ	SUS製,指定色焼付塗料	式	1				内　1号
ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎	2,900×2,300×600	式	1				内　2号
変圧器	三相 6kV 150kVA	台	1				単　31号
ｺﾝｸﾘｰﾄ柱	12-19-5.0	本	1				単　32号

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ柱運搬費		式	1				内　3号
高圧気中開閉器	300A SUS製 DGR付 VT･LA内蔵	台	1				単　33号
装柱材		式	1				内　4号
消化器ﾎﾞｯｸｽ	SUS製 ABC-10型 1本付	個	1				単　34号
床堀		m3	2				単　35号
埋戻し		m3	2				単　36号
埋設帯	折り返し付	m	3				単　37号
接地設置	銅板	箇所	3				単　38号
接地標示板	SUS製,刻印文字	枚	3				単　39号
融雪設備工		式	1				
電線管敷設	FEP30 地中	m	75				単　40号
電線管敷設	FEP40 地中	m	148				単　41号
電線管敷設	FEP50 地中	m	8				単　42号

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ｹｰﾌﾞﾙ敷設	2PNCT2-3C 地中管内	m	11				単　43号
ｹｰﾌﾞﾙ敷設	2PNCT2-4C 地中管内	m	11				単　44号
ﾘｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ敷設	RHVV-X5.5-1C 高耐熱型	m	745				単　45号
ｹｰﾌﾞﾙ接続		式	1				内　5号
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 600×600×900	H1-9,重耐蓋付,埋設表示付	基	2				単　46号
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 900×900×900	H2-9,重耐蓋付,埋設表示付	基	2				単　47号
床堀		m3	48				単　48号
埋戻し		m3	48				単　49号
埋設帯	折り返し付	m	81				単　50号
ﾋｰﾀｰﾕﾆｯﾄ　4種 既設道路敷設	200W/㎡,35.4㎡,7.33kW,ﾋﾟｯﾁ60mm	組	12				単　51号
ﾋｰﾀｰﾕﾆｯﾄ　4種 既設道路敷設	200W/㎡,5.24㎡,7.33kW,ﾋﾟｯﾁ90mm	組	3				単　52号
融雪制御装置	3要素	台	1				単　53号
外気温ｾﾝｻｰ	白金測温体　ﾘｰﾄﾞ線付	個	1				単　54号

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
路面温度ｾﾝｻｰ	白金測温体　ﾘｰﾄﾞ線付	個	1				単　55号
路面水分ｾﾝｻｰ	ﾘｰﾄﾞ線付	個	1				単　56号
試験調整費		式	1				内　6号
既設施設撤去工		式	1				
ﾋｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ作動液回収		本	109				単　57号
ﾌﾛﾝｶﾞｽ回収･処分		式	1				内　7号
舗装取壊し	既設ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ部	本	109				単　58号
不凍液回収		m3	1				単　59号
機械設備工		式	1				
既設ｶﾞｽﾎﾞｲﾗｰ庫等撤去		式	1				内　8号
区画線工		式	1				
溶融式区画線 停止線	実線30cm,厚さ1.0mm	m	9				単　60号
溶融式区画線 ダイヤマーク	実線30cm,厚さ1.0mm	m	20				単　61号

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
溶融式区画線 横断歩道	実線45cm,厚さ1.0mm	m	10				単　62号
溶融式区画線 外側線	溶剤型･実線･常温式15cm	m	200				単　63号
溶融式区画線 中央線	溶剤型･破線･常温式15cm	m	50				単　64号
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
安全費		式	1				
交通誘導員 日中		人日					単　65号
交通誘導員 夜間		人日					単　66号
技術管理費		式	1				
電気主任技術者立会費		式	1				内　9号
電力申請手続費		式	1				内　10号
共通仮設費（率計上）		式	1				

本工事費内訳書（本01）

工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路維持

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

参　考　図　書

工事番号・工事名	H27 市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事

「留意事項」

1　参考図書は「真摯で機動性のある見積り」を目的に提示するものである。

2　参考図書は、発注者が用いた積算資料を、参考として提示するもので、契約上拘束するものではない。

3　参考図書の内容は、設計図書の変更あるいは誤びゅうによるもの以外、設計変更の対象としない。

積算参考資料

積算情報	
工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事
設計書種別	土木当初
単価使用年月	平成27年 7月
単価地区	0541:秋田Ａ
歩掛適用年月	平成27年 7月
基準適用年月	平成27年 7月
豪雪割増	1:豪雪割増
労務単価割増率	0%
主工種	13:道路維持工事
調整区分	調整無し
消費税率	8.0%
処分費計上額の有無	有
施工時期補正	
主な基準書名	土木工事標準積算基準書(共通・道路・河川編)(秋田県建設交通部)

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　1号	屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ	SUS製,指定色焼付塗料	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
配電盤据付	高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙ,新設,補正なし	面	1				単　81号
配電盤調整	高圧ｷｭｰﾋﾞｸﾙ,補正なし	面	1				単　82号
屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ SUS 300kVA		基	1				
合計							

秋田市

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　2号	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎	2,900×2,300×600	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
基礎砕石	7.5cm超12.5cm以下,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	m2	7.8				
型枠	一般型枠,均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	0.6				
ｺﾝｸﾘｰﾄ	無筋・鉄筋構造物,打設量10m3/日未満かつ高2m以下,18-8-40(高炉),一般養生,無し	m3	0.4				
型枠	一般型枠,鉄筋・無筋構造物	m2	6.2				
ｺﾝｸﾘｰﾄ	無筋・鉄筋構造物,打設量10m3/日未満かつ高2m以下,21-8-25(20)(高炉),一般養生,無し	m3	4				
鉄筋工［市場単価］	SD295A D13,一般構造物,10t未満,無,無,無,無,補正無(鉄筋割合10%未満含む),補正無(一般構造物)	t	0.13				単　83号
ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて仕上げ		m2	6.7				単　84号
合計							

秋田市

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　3号	ｺﾝｸﾘｰﾄ柱運搬費							
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ柱運搬費			式	1				
合計								

秋田市

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　4号	装柱材

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
支線取付	打込ｱﾝｶｰ(7/4 90ロ以下),新設,巻付 ｸﾞﾘｯﾌﾟなし	本	1				単　88号
支線 ｱﾝｶｰ含む		式	1				
腕金取付	腕金900mm以下,新設	本	1				単　89号
軽腕金 0.9 電線用		本	1				
高所作業車(ﾘﾌﾄ車)作業床高12～13m [自走式(ﾎｲｰﾙ)・ﾌﾞｰﾑ型]		日					
合計							

秋田市

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　5号	ｹｰﾌﾞﾙ接続

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
リード線敷設(スリーブ接続)	ｽﾘｰﾌﾞ接続	箇所	12				単　96号
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　6号	試験調整費

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
路面凍結検知装置調整	観測装置,補正なし	台	1				単 100号
路面凍結検知装置調整(センサー)	ｾﾝｻｰ,補正なし	組	1				単 101号
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　7号	ﾌﾛﾝｶﾞｽ回収･処分							
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
空ﾎﾞﾝﾍﾞ運搬 5本以上9本以下			本	6				
回収ﾎﾞﾝﾍﾞ運搬 5本以上9本以下			本	6				
ﾌﾛﾝｶﾞｽ（処分費） ﾎﾞﾝﾍﾞ重量20kg			本	6				
合計								

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　8号	既設ｶﾞｽﾎﾞｲﾗｰ庫等撤去

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ﾎﾞｲﾗｰ庫撤去 2,450×920×2,100H 鋼製		基	1				
熱源機部品取外 ﾊﾟｲﾛｯﾄﾊﾞｰﾅｰ、制御盤、ﾊﾟﾜｰｲｸﾞﾅｲﾀｰ		基	1				
熱源機撤去 真空式 160,000kcalh		基	1				
給熱ﾎﾟﾝﾌﾟ撤去 1.5kw		台	1				
密閉式膨張ﾀﾝｸ撤去 容量:80L		基	1				
ﾌﾞﾗｲﾝ加圧装置撤去 受水量:10L		組	1				
配管切断ｷｬｯﾌﾟ止め 温水往循環(50A)		箇所	2				
不凍液抜取 0.9m3		式	1				
不凍液搬出費 ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ(2t)、ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ(2t)		式	1				
雑材費 回収用配管部材費、消耗品雑材費		式	1				
配管類撤去 温水往還(50A)		m	5				
基礎解体		m3	3.2				単 103号

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　8号	既設ｶﾞｽﾎﾞｲﾗｰ庫等撤去

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻運搬･処分 運搬距離9.6km,処分費有		m3	3.2				単 104号
発生材運搬･処分		式	1				単 105号
機器搬出費 ｸﾚｰﾝ付きﾄﾗｯｸ(2t)		式	1				
掘削	土砂,上記以外(小規模),1箇所100m3以下(標準)	m3	3				
埋戻し	上記以外(小規模),土砂	m3	3.8				
都市ガス工事 撤去		式	1				単 106号
合計							

秋田市

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　9号	電気主任技術者立会費

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
電気主任技術者立会		式	1				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2015.07
歩掛適用年月	2015.07
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

内　10号	電力申請手続費

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
電力申請手続		式	1				
合計							

数 量 総 括 表

工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
施工延長				m	109.9	
舗装工	舗装打換え工	舗装版切断	AS舗装版,t=15cm	m	17.6	
		舗装版破砕	AS舗装版,t=15cm	㎡	700.4	
		舗装版破砕	AS舗装版,t=9cm	㎡	164.9	
		殻運搬処分	AS殻,L=9.6km,浜田字長坂地内 10tDT	m3	119.9	
		不陸整正 車道部	路盤材:再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40 補充整正厚t=20mm	㎡	700.4	
		不陸整正 歩道部	路盤材:再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40 補充整正厚t=20mm	㎡	164.9	
		基層 車道部	再生①粗粒度As(20) t=50mm	㎡	700.4	
		基層 歩道部	再生②密粒度As(20) t=30mm	㎡	164.9	
		中間層 車道部	細粒度AS(5F)・改質Ⅱ型 t=40mm,埋設層,人力	㎡	700.4	溶融ｽﾗｸﾞ入り
		中間層 歩道部	再生②密粒度AS(13) t=30mm,埋設層,人力	㎡	164.9	溶融ｽﾗｸﾞ入り
		中間層 車道部	細粒度AS(5F)・改質Ⅱ型 t=40mm,緩衝層,人力	㎡	700.4	溶融ｽﾗｸﾞ入り
		表層 車道部	②密粒度AS(13)・改質Ⅱ型 t=30mm	㎡	700.4	溶融ｽﾗｸﾞ入り
		表層 歩道部	②密粒度AS(13)・改質Ⅱ型 t=30mm	㎡	164.9	溶融ｽﾗｸﾞ入り
道路付属施設工	受変電設備工	電線管敷設	SUS-GP 28 屋外露出	m	7.0	
		電線管敷設	SUS-GP 82 屋外露出	m	10.0	
		電線管敷設	VE 16 屋外露出	m	16.0	
		電線管敷設	VE 16 屋外露出	m	1.0	
		電線管敷設	FEP 30 地中	m	12.0	
		電線管敷設	FEP 80 地中	m	6.0	
		異種管接続材	FEP80-GP82	組	1.0	
		ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE 5.5 屋外管内	m	7.0	
		ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE 14 屋外管内	m	9.0	
		ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE 14 地中管内	m	1.0	
		ｹｰﾌﾞﾙ敷設	EM-IE 38 地中管内	m	12.0	

		高圧ｹｰﾌﾞﾙ	6kV EM-CET 60 屋外露出	m	5.0	
		高圧ｹｰﾌﾞﾙ	6kV EM-CET 60 地中管内	m	3.0	
		高圧ｹｰﾌﾞﾙ	6kV EM-CET 60 屋外露出	m	3.0	
		電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理	6kV 60 屋内	組	1.0	
		電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理	6kV 60 屋外ｶﾞｲｼ型	組	1.0	
		ｹｰﾌﾞﾙﾏｰｸ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製 彫刻文字	枚	3.0	
		屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ	SUS製 指定色焼付塗装	基	1.0	
		屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎	2,900×2,300×600	基	1.0	
		変圧器	三相 6kV 150kVA	台	1.0	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ柱	12-19-5.0	本	1.0	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ柱運搬費		式	1.0	
		高圧気中開閉器	300A SUS製 DGR付 VT･LA内蔵	台	1.0	
		装柱材		式	1.0	
		消火器ﾎﾞｯｸｽ	SUS製 ABC-10型 1本付	個	1.0	
		床掘り	BH0.20m3	m3	1.8	
		埋戻し	BH0.20m3,ﾀﾝﾊﾟ締固め	m3	1.8	
		埋設帯	折り返し付	m	3.0	
		接地工事	銅板	箇所	3.0	
		接地標示板	SUS製 刻印文字	枚	3.0	
	融雪設備工	電線管敷設	FEP 30 地中	m	75.0	
		電線管敷設	FEP 40 地中	m	148.0	
		電線管敷設	FEP 50 地中	m	8.0	
		ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ設置	H1-6 重耐 埋設標示付 600×600×600	基	2.0	
		ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ設置	H2-9 重耐 埋設標示付 900×900×900	基	2.0	
		床掘り	BH0.20m3	m3	47.9	
		埋戻し	BH0.20m3,ﾀﾝﾊﾟ締固め	m3	47.9	
		埋設帯	折り返し付	m	81.0	

数 量 総 括 表

		ｹｰﾌﾞﾙ敷設	2PNCT 2-3C 地中管内	m	11.0	
		ｹｰﾌﾞﾙ敷設	2PNCT 2-4C 地中管内	m	11.0	
		ﾘｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ敷設	RHVV 5.5-1C 高耐熱型	m	745.0	
		ﾘｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ接続		式	1.0	
		ﾋｰﾀｰﾕﾆｯﾄ	200W/㎡ 35.4㎡ 7.33kW 400V 第4種発熱線	組	12.0	
		ﾋｰﾀｰﾕﾆｯﾄ	200W/㎡ 25.0㎡ 5.24kW 400V 第4種発熱線	組	3.0	
		融雪制御装置	3要素	台	1.0	
		外気温ｾﾝｻｰ	白金測温体 ﾘｰﾄﾞ線付	個	1.0	
		路面温度ｾﾝｻｰ	白金測温体 ﾘｰﾄﾞ線付	個	1.0	
		路面水分ｾﾝｻｰ	ﾘｰﾄﾞ線付	個	1.0	
		試験調整費		式	1.0	
	既設施設撤去工	ﾌﾛﾝｶﾞｽ回収		本	6.0	
		舗装取壊し	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ部人力取壊し	本	109.0	
		不凍液回収		式	1.0	
		既設ﾎﾞｲﾗｰ庫等撤去		式	1.0	
区画線工	区画線工	溶融式区画線	実線･ｾﾞﾌﾞﾗ,30cm,厚さ1.0mm 排水性舗装用無	m	9.0	停止線
		溶融式区画線	実線･ｾﾞﾌﾞﾗ,45cm,厚さ1.0mm 排水性舗装用無	m	10.1	横断歩道
		溶融式区画線	矢印･記号･文字,15cm換算,厚さ1.0mm 排水性舗装用無	m	20.0	ﾀﾞｲﾔ
		ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	溶剤型,実線,常温式,15cm	m	200.0	外側線
		ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	溶剤型,破線,常温式,15cm	m	50.0	中央線

融　雪　設　備　工　事　仕　様　書

Ⅰ　工事概要

１．工事場所　　秋田市八橋大道東地内
２．施設名称　　市道油田堂ノ沢線融雪施設
３．耐震クラス　　建築設備機器　Ｓ
４．電気工作物　　●自家用電気工作物　　○一般用電気工作物
５．電気工事士　　●第一種電気工事士　　○第二種電気工事士　　○認定電気工事従事者
６．電気料金他　　（１）電気料金　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は受電した日から引き渡し日までとする。
（２）保安委託費　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は受電した日から引き渡し日を含む月までとする。
７．近接工事　　当該工事の落札者が、当市発注済みの下記工事の請負者と同一であった場合は、間接工事費等を調整し契約変更を行う。
なお、調整は、土木工事標準積算基準書および公共建築工事積算基準に基づき行うものとする。

工事番号　：
工 事 名　：

工事番号　：
工 事 名　：

Ⅱ　一般事項

１．適用範囲
設計図書および質問回答書に記載してある事項以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編　最新版　以下、標準仕様書という）および公共建築設備工事標準図（電気設備工事編　最新版　以下、標準図という）による。
２．工事関係図書
標準仕様書 第１編１．１．３～１．２．４による他、下記による。
（１）提出書類について
指示なき以外は下記の書類を提出すること。
①着工前に提出する書類　・施工計画書　・実施工程表　・工事監理用白焼き２つ折製本　１部
・施工体系図　・資格証明書等の写し　・工事実績情報登録内容確認書（受注登録）
・機器・材料製造者選定届　・納入仕様書
・総合図　・施工図　・計算書
・工事前写真　・工事前試験結果報告書　・打合せ記録
②工事中に随時提出する書類　・施工計画書
・工事報告書（月１回）　・工事施工記録書（月１回）　・工事総合進捗表（月１回）
・工事進捗記録写真（月１回）　・工事施工進捗図（月１回）
・全体実施工程表　・週間、月間工程表　・作業日報
・施工体系図　・施工体制台帳
・使用資材報告書　・納入仕様書　・試験成績報告書
・総合図　・施工図
・工事写真　・試験結果報告書　・打合せ記録
・諸官庁届出書　・工事実績情報登録内容確認書（変更登録）
③下検査前に提出する書類　・工事完成届（指定用紙）　・建退共証紙貼付実績書および共済手帳の写し
・完成写真　・工事写真
・主要機器一覧表
・機器・材料製造者選定届　・納入仕様書
・試験結果報告書　・試験成績報告書
・社内検査報告書
・諸官庁届出書および許可書
・資格証明書等の写し
・廃材等の処分証明書（マニフェストＥ票の写し、許可証の写し、フローチャート等）
④完成検査前に提出する書類　・下検査指摘事項書
・同上是正報告書および是正写真
⑤完成検査後に提出する書類　・完成検査写真
・完成検査指摘事項書
・同上是正報告書および是正写真
・工事完成引渡書　・工事完成受領書
⑥かし担保　かし担保期間は、工事請負契約書による。
⑦かし担保満了時に提出する書類　かし担保期間満了１ヶ月前に各設備の点検、調整及び修理を行い、監督員に書類で報告すること。
（２）工事写真について
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」および下記による。ただし、詳細については監督員の指示によるものとする。
・完成写真、資材検収写真（工種別、資材別、寸法、仕様銘版）
・工事写真、廃材処分写真（積込み、運搬、処分地搬入状況）
・試験写真（絶縁、接地、照度、試運転調整等）
・検査写真（中間検査写真、完成検査写真、官庁立会検査写真）
３．工事現場管理
標準仕様書 第１編１．３．１～１．３．１０による。
４．機器および材料
標準仕様書 第１編１．４．１～１．４．６による他、下記による。
本工事に使用する機器および材料は、Ⅵ 工事機材から選定し、速やかに機器・材料製造者選定届を提出すること。
５．施工
標準仕様書 第１編１．５．１～１．５．７による他、下記による。
（１）技能士の適用範囲は端末処理作業、後打ちアンカー作業、ケミカルアンカー作業とする。
（２）現場で溶接作業を行う溶接工はＪＩＳＺ３８０１に基づく（社）日本溶接協会の管溶接の資格を有する者とする。
６．試験
標準仕様書記載の試験および、監督員の指示するものとする。
７．工事検査および技術検査
標準仕様書 第１編１．６．１～１．１．６．２による他、「秋田市建設工事検査規程」による。
８．完成図等
標準仕様書 第１編１．７．１～１．１．７．３による他、下記のとおり納入すること。
（１）完成図書類（標準仕様書および、監督員の指示による。）

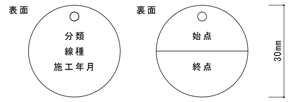
・完成図書（黒表紙製本）　１部
・Ａ４版青焼き２つ折製本（竣工図、施工図、盤完成図）　２部
・ＣＤ、ＤＶＤ（竣工図、施工図、納入仕様書、取扱説明書、工事写真）　２部

（２）附属品（予備品含む）
附属品（予備品含む）、保守工具は引継目録を添えて提出すること。また鍵・弁等に取り付ける名称札はプラスチック製とし、彫り込み文字とする。
予備品において、ヒューズ、避雷器類は、各盤ごとに現用品の２０％以上、また、種別ごとに１組以上を具備すること。
９．その他
本工事に必要な各種申請手続等はすべて請負者において行うこと。

Ⅲ　共通事項

１．ハンドホール　（１）特記なき以外はブロック型埋設表示板付とし、配管取付加工（ベルマウス、止水スリーブ等）を工場で行うこと。
（２）ハンドホール内ではケーブルに余長を設けること。
（３）蓋の表示は下記のとおりとする。
「　電　」……一般電気設備　　「高圧」……高圧電力用設備
２．接地　接地埋設標はステンレス製とし、文字、数値は刻印とする。
３．土工事関連　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編　最新版）第３章「土工事」による。
４．耐震施工　設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所監修）」による。
５．アンカー　（１）機器固定のアンカーボルトの場合には、着工前に耐震計算書を提出すること。
（２）屋外に施工する場合はステンレス製とし、シーリングを確実に行うこと。
６．シーリング　シーリング材およびプライマーの選定、施工は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編最新版）による。
７．盤類　特記なき以外は下記によるものとする。
（１）扉のハンドル形状は監督員の指示によるものとし、２００番とする。
（２）抵抗の測定が容易な構造とし、負荷接続用端子台を実装すること。
（３）圧着端子は丸型とし、制御回路等の配線には線番号を付けること。
（４）盤内扉の固定方法はワンタッチ式とし、ローレットビスおよびビス止め方式としないこと。
８．屋外等の仕様　屋外に用いる支持金具、ボルト、ナット、ビス類はすべてステンレス製もしくは溶融亜鉛メッキ製とする。
また、ステンレス製電線管は厚鋼ねじなし、つや無し仕上とする。
９．ケーブル保護　ケーブル工事において配線の立上がり・立下がりは電線管で保護すること。
１０．導入線の挿入　本工事で使用しない新設配管には導入線（ＥＭ－ＩＥ１．６）を挿入すること。
１１．機器等の表示　盤内の制御機器には、系統名称を表示すること。
１２．ケーブルマーク　特記なき以外は下記によるものとし、詳細は監督員の指示による。
プラスチック製　彫刻文字　ビニール被覆結束紐付　とし、盤、ハンドホール内に取付けること。
表面に分類と線種および施工年月、裏面に始点と終点を記すこと。
用途別のケーブルマークの色別は下記のとおりとする。

分　類	地　色	文字色
高　圧	赤	黒
電　灯	白	黒
動　力	青	白
弱　電	黄	黒



Ⅳ　仮設工事

１．現場事務所　●有り　○無し
２．工事電力および用水　工事用電力　構内既存施設　●利用できない　○利用できる（有償）
工 事 用 水　構内既存施設　●利用できない　○利用できる（有償）
３．工事表示板の設置　監督員が指定する位置に一箇所設置する。
表示時期は工事着工時から完成時までとする。
表示板の形式

建　築　工　事　の　表　示	
工　事　名　称	工事名称
工　事　期　間	平成○○年○○月○○日　～　平成○○年○○月○○日
建　　築　　主	秋田市長　○○○○
設　　計　　者	秋田市建設部道路維持課
工 事 監 督 者	秋田市建設部道路維持課　○○　TEL018-864-3643
工 事 施 工 者	○○○○○○○○○○　○○　TEL000-000-0000

（１）表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。
（２）地色は、マンセル記号１ＧＹ７．５／８とし黒文字（角ゴシック）で表現する。
（３）表示板の大きさ
●１号　（横　180cm×縦　90cm）　○２号　（横　240cm×縦　120cm）
○３号　（横　360cm×縦　180cm）　○その他　（横　　cm×縦　　cm）
４．その他　（１）建設リサイクル法の対象の場合は、同法遵守指導としての「届出(通知)済シール」を建設業許可標識に貼り付けること。
（２）建設業退職金共済制度の対象の場合は、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」の掲示をすること。

Ⅴ　工事機材

本工事に使用する融雪機材は、下記の製造業者の中から選定すること。

融雪機材	三菱、富士古河、北日本又は融雪機材における１Ｓ０９００１の認証を取得している製造業者

その他、本工事に使用する機器および材料は、下記の製造業者の中から選定すること。
ただし、記載されていない　品目、製造業者および同等品等については事前に書類を提出し、監督員の承諾を得ること。

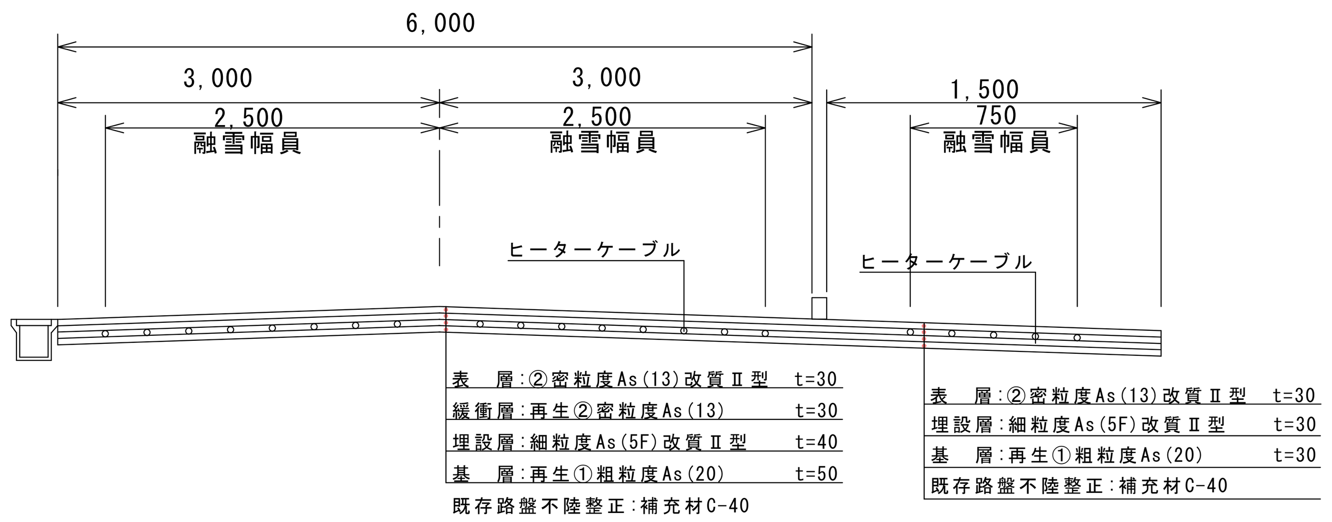
電線・ケーブル	ＪＩＳマーク表示品
通信用ケーブル	（社）日本電線工業会規格適合品、準拠品
電線管・電線管付属品	ＪＩＳマーク表示品
波付硬質合成樹脂管	ＪＩＳマーク表示品
プルボックス	国土交通省仕様
配線器具	ＪＩＳマーク表示品
製作盤	東和、山形、かわでん、古川
配線用遮断器	三菱、富士、パナソニック、東芝、日立、テンパール、日幸、戸上、日東、寺崎
接触器	三菱、富士、パナソニック、東芝、日立、戸上、安川、春日
計器、継電器等	ＪＩＳマーク表示品
高圧負荷開閉器	戸上、三菱、富士、東芝、エナジーサポート、日本高圧
高圧遮断器	三菱、富士、明電舎、日立、愛知、東芝、安川、戸上
変圧器	三菱、富士、明電舎、日立、愛知、東芝、安川、ダイヘン、高岳、利昌
進相コンデンサ	三菱、ニチコン、指月、東芝、日新、利昌
直列リアクトル	三菱、ニチコン、指月、東芝、日新、利昌
ハンドホール	コンクリート製品でのＪＩＳ認定工場
ハンドホールの蓋	国土交通省仕様

完成図書の納入にあたっては、電子納品に対応すること。

年　度	平成　２７　年度		
路線名	市道油田堂ノ沢		
施工箇所	八橋大道東地内		
工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事		
図面名称	融雪仕様書	縮尺	NON
秋田市建設部道路維持課ゆき対策担当			

標準横断図

S=FREE

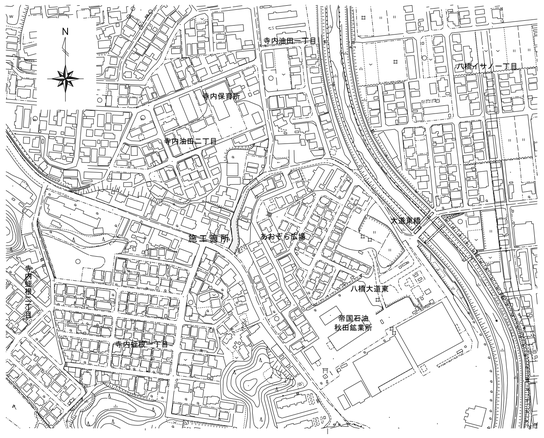


平　面　図

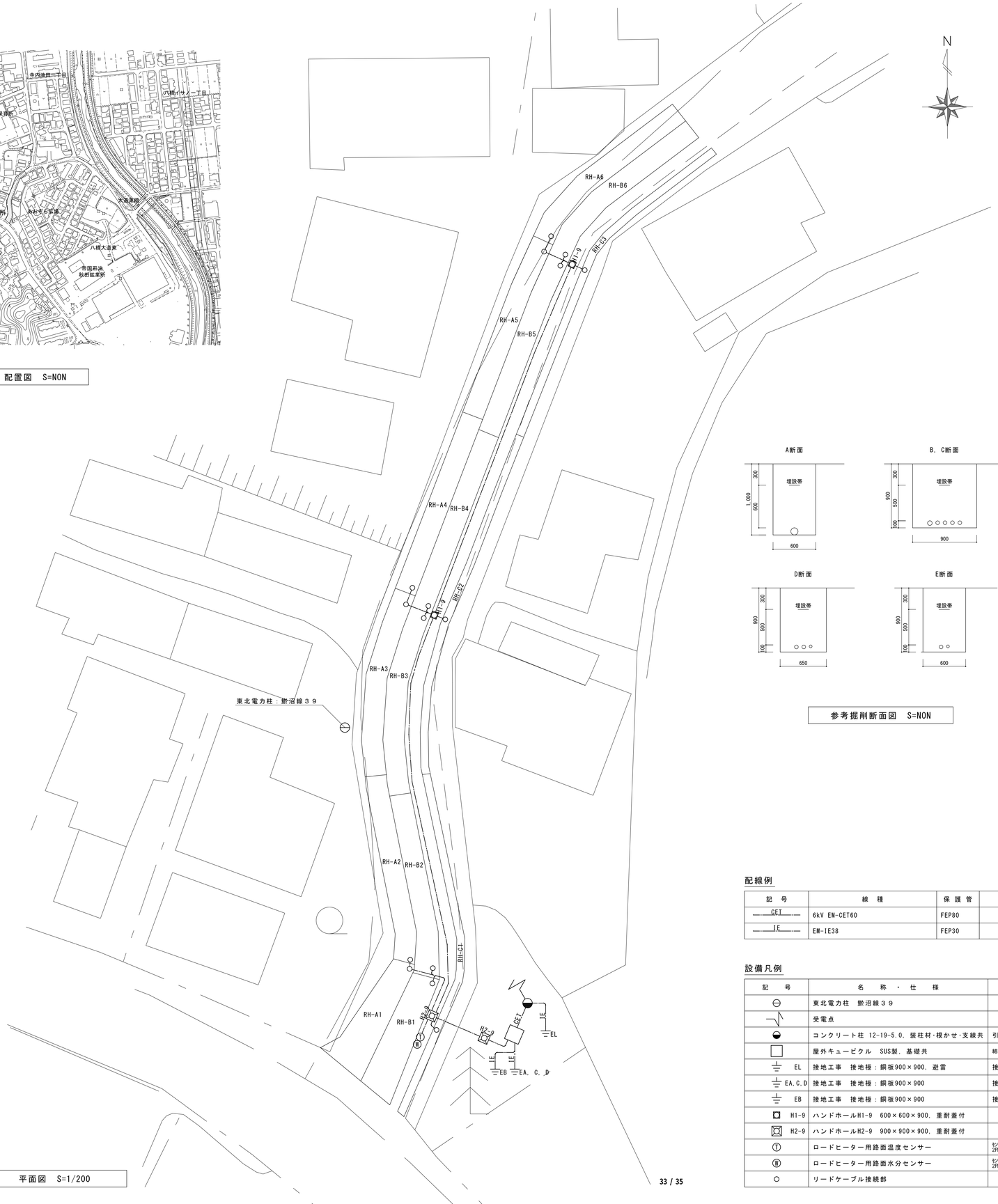
S=1/500

工事概要		
	施工延長（舗装）車道部	L=109.9m
	施工延長（舗装）歩道部	L=109.9m
	施工幅員（舗装）車道部	W=10.1～6.0m
	施工幅員（舗装）歩道部	W=1.5m
	施工面積（舗装）車道部	A=700㎡
	施工面積（舗装）歩道部	A=165㎡
	施工延長（融雪）車道部	L=100m
	施工延長（融雪）歩道部	L=100m
	施工幅員（融雪）車道部	W=4.0～9.5m
	施工幅員（融雪）歩道部	W=0.75m
	施工面積（融雪）車道部	A=424.8㎡
	施工面積（融雪）歩道部	A=75㎡
	融雪ユニット敷設（車道部）	N=12面
	融雪ユニット敷設（歩道部）	N=3面
	既設制御盤撤去	N=1基
	制御盤設置	N=1基

年度	平成２７年度	箇所番号	
工事名	市道油田堂ノ沢線　融雪施設改良工事		
施工箇所	寺内蛭根三丁目地内		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	1/500	図面番号	
秋田市建設部道路維持課			

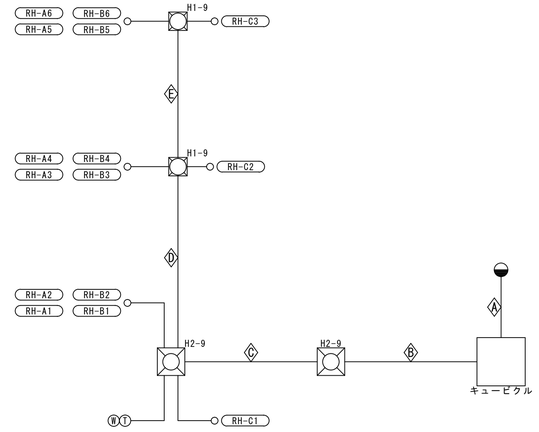


配置図　S=NON



平面図　S=1/200

参考掘削断面図　S=NON



配線系統図　S=NON

配線例

数値記載は公称径サイズ

記　号	線　種	保護管	備　考
—CET—	6kV EM-CET60	FEP80	
—IE—	EM-IE38	FEP30	

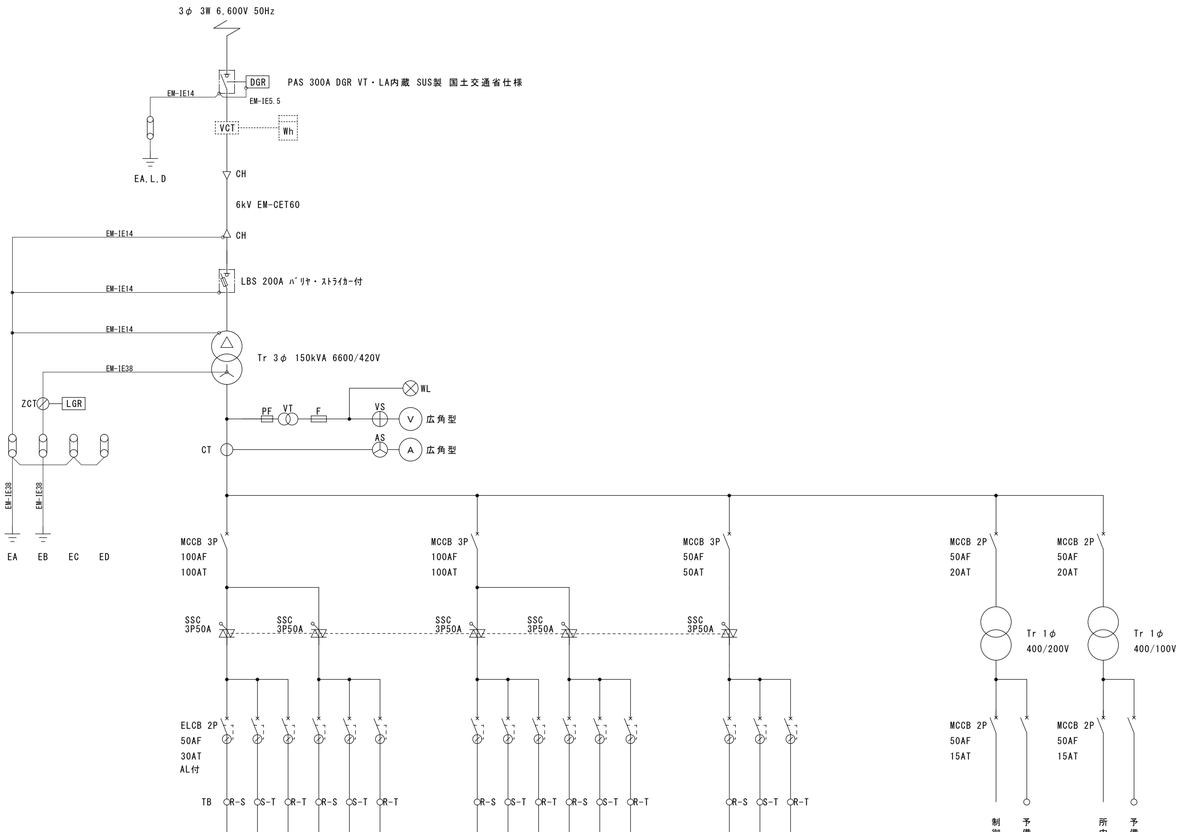
設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
⊖	東北電力柱　歅沼線３９	
	受電点	
	コンクリート柱 12-19-5.0，装柱材･根かせ･支線共	引込柱参考姿図参照
□	屋外キュービクル　SUS製，基礎共	結線図，屋外キュービクル参考姿図参照
EL	接地工事　接地極：銅板900×900，避雷	接地線：EM-IE38（FEP30）
EA,C,D	接地工事　接地極：銅板900×900	接地線：EM-IE38（FEP30）
EB	接地工事　接地極：銅板900×900	接地線：EM-IE38（FEP30）
H1-9	ハンドホールH1-9　600×600×900，重耐蓋付	
H2-9	ハンドホールH2-9　900×900×900，重耐蓋付	
Ⓣ	ロードヒーター用路面温度センサー	ｾﾝｻｰ付属のｹｰﾌﾞﾙは，最寄りのﾊﾝﾄﾞﾙｰﾙ内でJPNCTと接続すること
Ⓦ	ロードヒーター用路面水分センサー	ｾﾝｻｰ付属のｹｰﾌﾞﾙは，最寄りのﾊﾝﾄﾞﾙｰﾙ内でJPNCTと接続すること
○	リードケーブル接続部	

配　線

Ⓐ	EM-CET60（FEP80）	高圧引込
Ⓑ	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A1，RH-A2，RH-B1，RH-B2
	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A3，RH-A4，RH-B3，RH-B4
	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A5，RH-A6，RH-B5，RH-B6
	RHVV5.5 × 6（FEP40）	RH-C1，RH-C2，RH-C3
	2PNCT2-3C + 2PNCT2-4C（FEP50）	路面温度ｾﾝｻｰ，路面水分ｾﾝｻｰ
Ⓒ	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A1，RH-A2，RH-B1，RH-B2
	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A3，RH-A4，RH-B3，RH-B4
	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A5，RH-A6，RH-B5，RH-B6
	RHVV5.5 × 6（FEP40）	RH-C1，RH-C2，RH-C3
	2PNCT2-3C + 2PNCT2-4C（FEP50）	路面温度ｾﾝｻｰ，路面水分ｾﾝｻｰ
Ⓓ	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A3，RH-A4，RH-B3，RH-B4
	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A5，RH-A6，RH-B5，RH-B6
	RHVV5.5 × 4（FEP30）	RH-C2，RH-C3
Ⓔ	RHVV5.5 × 8（FEP40）	RH-A5，RH-A6，RH-B5，RH-B6
	RHVV5.5 × 2（FEP30）	RH-C3

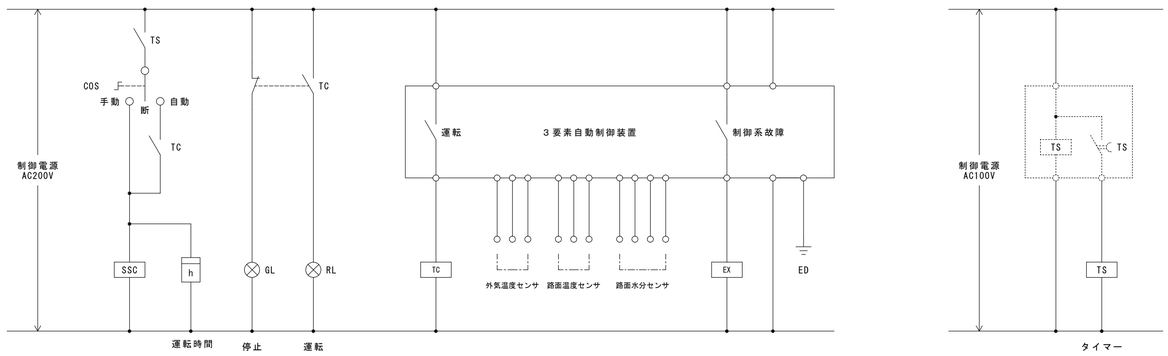
年　度	平成　２７　年度		
路線名	市道油田堂ノ沢		
施工箇所	八橋大道東地内		
工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事		
図面名称	配置図・平面図・参考掘削断面図 配線系統図	縮尺	NON 1/200
秋田市建設部道路維持課ゆき対策担当			

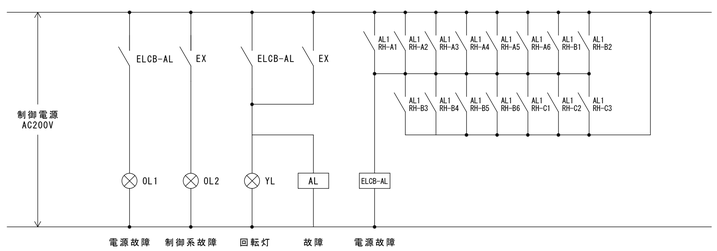


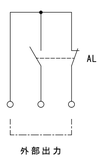
ﾋｰﾀｰﾕﾆｯﾄ	RH-A1	RH-A2	RH-A3	RH-A4	RH-A5	RH-A6	RH-B1	RH-B2	RH-B3	RH-B4	RH-B5	RH-B6	RH-C1	RH-C2	RH-C3	計
容量(kW)	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	7.33	5.24	5.24	5.24	103.68
面積(m^2)	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	25.0	25.0	25.0	499.80

耐圧試験を行うこと。
電気主任技術者の竣工立会をすること。

単線結線図　S=NON







表示部

WL	OL1	GL1	RL1	OL3	GL3	RL3
OL	OL2	GL2	RL2			

表示部仕様
ＬＥＤ表示ランプ
角型文字付

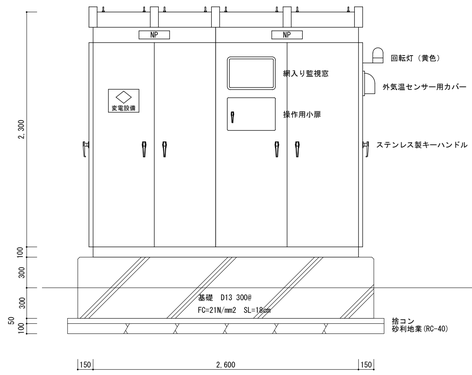
WL　：電源
OL　：制御系故障
OL1 ：Ａブロック故障　　OL2 ：Ｂブロック故障　　OL3 ：Ｃブロック故障
GL1 ：Ａブロック停止　　GL2 ：Ｂブロック停止　　GL3 ：Ｃブロック停止
RL1 ：Ａブロック運転　　RL2 ：Ｂブロック運転　　RL3 ：Ｃブロック運転

ケーブルマーク仕様
プラスチック製彫刻文字とする
キュービクル、ハンドホール内に取付けること。

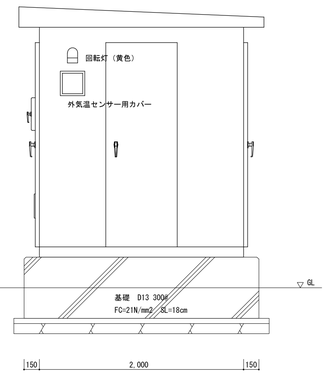
その他
配線に線番を表示すること
接続端子は丸型とすること
開閉器名称は別途指示する

制御回路図　S=NON

正面



側面



屋外キュービクル仕様
SUS304製
指定色焼付塗装
SUS製A4図面ホルダー付
盤名称は別途指示する

付属品
南京錠１個、合鍵４本
SUS製消火器ボックス（ABC-10型 1本付）

表示部

WL	GL	RL	予備	
予備	OL1	OL2	予備	

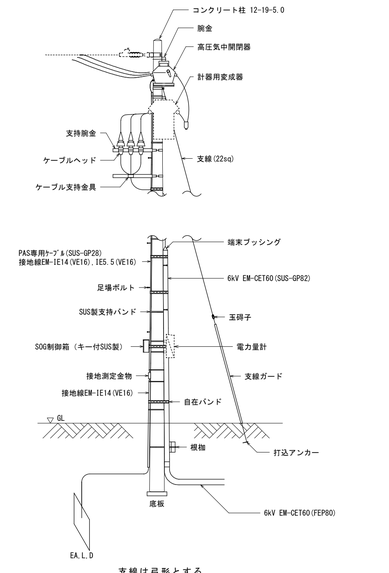
表示部仕様
ＬＥＤ表示ランプ
角型文字付

WL　：電源
GL　：停止
RL　：運転
OL1 ：電源系故障
OL2 ：制御系故障

ケーブルマーク仕様
プラスチック製彫刻文字とする
キュービクル、ハンドホール内に取付けること

その他
開閉器名称は別途指示する

屋外キュービクル参考姿図　S=NON

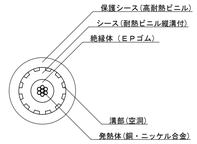
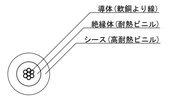
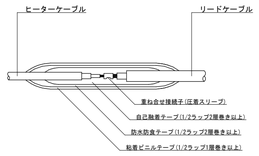
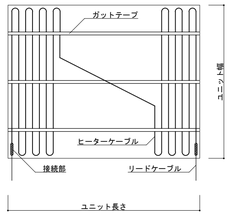
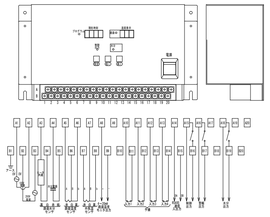
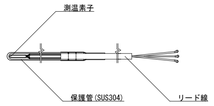
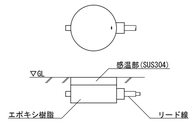
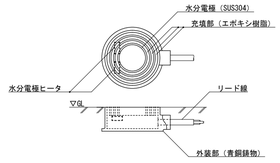


支線は弓形とする
高圧ケーブルについては、予備配管（SUS-GP82、FEP80）も設けること

引込柱参考姿図　S=NON

年　度	平成　２７　年度		
路線名	市道油田堂ノ沢		
施工箇所	八橋大道東地内		
工事名	市道油田堂ノ沢線融雪施設改良工事		
図面名称	単線結線図・制御回路図・姿図	縮尺	NON
秋田市建設部道路維持課ゆき対策担当			

融　雪　機　器　参　考　姿　図

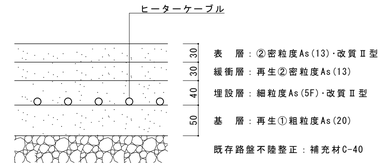
ヒーターケーブル（第４種発熱線）断面図	高耐熱型リードケーブル断面図	接続部構造図	ヒーターユニット構成図
			
３要素自動制御装置姿図（融雪制御盤組込）	**外気温度センサー（白金測温体）姿図**	**路面温度センサー（白金測温体）姿図**	**路面水分センサー姿図**
			

融　雪　設　備　仕　様　表

融雪エリア		Ａ，Ｂブロック（車道）			
融雪方式		電熱式			
電源種別		３φ　３Ｗ　６，６００Ｖ　５０Ｈｚ　融雪用電力Ｂ			
制御方式		外気温度・路面温度・路面水分による３点制御			
設計発熱量	(W/㎡)	２００			
敷設面積	(㎡)	４２４．８			
電力	(kW)	４３．９８			
リードケーブル		高耐熱型ＲＨＶＶ－Ｘ５．５×２			
ヒーターユニット	種　別	第４種発熱線（ＪＩＳ　Ｃ　３６５１）			
	番　号	Ａ１，２，３	Ａ４，５，６	Ｂ１，２，３	Ｂ４，５，６
	数　量	３	３	３	３
	電　圧 (V)	４００	４００	４００	４００
	電　力 (kW)	７．３３	７．３３	７．３３	７．３３
	占有面積 (㎡)	３５．４	３５．４	３５．４	３５．４

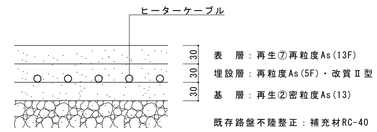
融雪エリア		Ｃブロック（歩道）
融雪方式		電熱式
電源種別		３φ　３Ｗ　６，６００Ｖ　５０Ｈｚ　融雪用電力Ｂ
制御方式		外気温度・路面温度・路面水分による３点制御
設計発熱量	(W/㎡)	２００
敷設面積	(㎡)	７５．０
電力	(kW)	１５．７２
リードケーブル		高耐熱型ＲＨＶＶ－Ｘ５．５×２
ヒーターユニット	種　別	第４種発熱線（ＪＩＳ　Ｃ　３６５１）
	番　号	Ｃ１，２，３
	数　量	３
	電　圧 (V)	４００
	電　力 (kW)	５．２４
	占有面積 (㎡)	２５．０

施工断面図（車道）



歩道舗装時の温度は１４０℃以下、転圧は３ｔ以下とする。

施工断面図（歩道）



歩道舗装時の温度は１４０℃以下、転圧は３ｔ以下とする。

年　度	平成　２７　年度			
路線名	市道油田堂ノ沢			
施工箇所	八橋大道東地内			
工事名	市道油田堂ノ沢融雪施設改良工事			
図面名称	融雪機器参考姿図・融雪設備仕様表	縮尺	NON	
秋田市建設部道路維持課ゆき対策担当				